

# 大好き！吉岐！ 紹介「しまおこし人」

vol.5

郷ノ浦町・宝亀 継吾さん(34)



「大好き！吉岐！紹介」しまおこし人、このコーナーは、「愛する吉岐の島の島おこし、今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分でありたい」と、様々な活動や行動を起こしている若者たちや市民を紹介するコーナーです。



第5回目の今回は、「仕事をしながら音楽活動をする仲間たちが皆集まって楽しめるような『場』を作りたい。そうした活動の一端が人々・島の活性化につながるならば『仕事をしながらだ』という大変なことも多い。とにかく始めたら最後までやる。『昔はしていましたが』ではなく、『今もしている』と言うことがとても大切。夢を抱きながら好きなことをし続けていこう」と話した郷ノ浦町、レストラン「愛らんど」のシェフ・久間英明さん。芦辺町から紹介で、地元商店連盟や組合などで活躍する郷ノ浦町、ふれあい通りにある衣料品店「宝亀」の宝亀継吾さん(34)。



カラオケのステージで義父と共演する宝亀さん

近所迷惑になつていたのでは？と思われ、およそ1年間のフランクを経験。久間さんからは「止めるのはもったいない」といふなど、10年くらい前に誘われて以来、「KUM Aバンド」のドラムを担当、自分たちの演奏で、聴きに来てくれた人たちに楽しんでもらえ、明日の力になるような、素敵な時間を過ごしている。素敵な時間にならば、とライブに臨んでおり、演奏しているそう。

地元でこだわって、そろそろ大きいコンサート、ライブをしたいと思っているそう。以前、福岡のライブハウスから誘われたこともあるが、吉岐でライブをすることに意義があると断つたこともあり、地元での活動にこだわっているという。

カラオケ愛好会にもはいるっており、ステージでは歌の他に「抱腹絶倒・吉州弁寸劇」など披露、「僕ら

芦辺町、一支部博物館主催(本紙など協賛)のサマーコンサートが8月11日午後7時(開演)から、同博物館3階・屋外展望広場で、福岡出身の女性シンガー・ソングライター「AKEMI Lady-A」さんを招いて開かれることになった。

AKEMIさんは、ソウル、ジャズ、ゴスペル、演歌、童謡と、ジャンルを超えて音楽を表現、アメリカ

## 8月11日午後7時開演 「AKEMI Lady-A」来演 一支部博物館サマーコンサート

の有名なライブハウスに出演したり、フランスやベルギー、韓国でコンサートツアーを開催するなど、国内外で活躍、有名アーティストとの共演も多く、注目されている実力派のボーカリストという。

今回の吉岐でのコンサートでは、ピアノなどの伴奏により、また君に恋してる、△アメリカン・グレイス、△蘇州夜曲、△見上げてごらん夜の星を、など、夕暮れ



の吉岐の島をバックにその歌声を披露、豊かな表現力でタップリと聞かせる。

チケットは、前売り1,000円、当日1,500円、年間パス800円(2枚まで)で、今月21日から

博物館1階受付で取り扱っている。

問い合わせなど詳しくは博物館(電話0920-4512731、FAX0920-4512749)へ。

内閣府男女共同参画局の本年度「男女共同参画週間」が23日から29日まで、「あなたがいる わたしがいる 未来がある」をテーマに、地域振興の願いを込めて頑張りたい。

音楽、ドラムとの出合いに感謝

音楽をきっかけに結婚をし、寄り添う人がいてくれるというこの素晴らしいことを知った。それはやる気の源。本当に音楽、ドラムとの出合いに感謝している。

【基本理念】  
①男女の個人の個性を尊重し、男女の差別をなくし、男性も女性もひとりの人間として能力を発揮できる機会を確保する必要がある。  
②社会における制度または慣行についての配慮  
③固定的な役割分担意識にとらわれず、男女が様々な活動ができるように社会の制度や慣行の在り方を考える必要がある。  
④家庭生活における活動と他の活動の両立  
⑤国際的協調

男女共同参画社会とは、男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が実現され、本市でも市同

推進懇話会、市企画振興部政策企画課が23日、芦辺町、ダイエー吉岐店前と石田町、マリンパル吉岐前で、同週間をアピール、男女参画と同週間の意義など訴える啓発活動を実施した。

芦辺町の会場で啓発活動

をを行った市同政策企画課労働班・坂本史子副主任は、「今回で4回目の啓発活動になります。この時くらいに男女共同参画の社会づくりについて訴える機会はありませんが、その趣旨は定着してきていると感じます」と話した。

野において方針の決定に参画できる機会を確保する必要がある。

④家庭生活における活動と他の活動の両立  
⑤国際的協調

男女共同参画社会とは、男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が実現され、本市でも市同

## あなたがいる わたしがいる 未来がある 共同参画週間 男女



ダイエー吉岐店前で実施された啓発活動



ネムの花

大切なのは、一人ひとりが、新しい「緑」、美しい「青」にめざめること

# 6月は「環境月間」

現在の社会は、地球の自然・環境を資源として築かれています。その結果、森林は伐採され、石油など化石燃料の消費などによる温暖化がすすみ、海面上昇により沈みゆく島や土地、消えゆく命があるなかで、様々な資源、エネルギーをいまだに奪い合い、深刻な事態に陥っている現実が存在し、特に、東日本大震災の原発事故の発生で、原子力の見えない影響に疑心暗鬼となり、それまで良好だったコミュニケーションが奪われてしまう事態も発生しています。環境の日、環境月間を契機に、「未来の生命」について考え、「自然・生命の和、循環」に根差したそれぞれの場でできる行動、活動が強く望まれ、今この瞬間からも求められ、迫られています。